

国語

【注意】

この問題はマークシート問題と記述式問題とにわかれています。
設問部分に「記」とあるものは記述式問題、「マ」とあるものはマークシート問題です。マークシート問題・記述式問題ともにそれぞれ全問が通し番号になっていますが、記述式問題は設問ごとに個別にわけた解答欄となっています。
それぞれ所定の用紙・箇所解答を記してください。

第1問 次の文の傍線部の読みを、送りがなを含め「ひらがな」で書きなさい。

- 記1 建物の壁面に穿たれた巨大な穴を見て、事故の大きさに驚嘆する。
記2 事態の全容を把握することのできる情報の収集に狂奔する。
記3 非常事態を乗り切るための有効な策を血眼になって探す。
記4 同床異夢の事態に陥ることを避けるためには関係各方面の情報共有が必須である。

第2問 次の漢字（送りがなを含む）の読みが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

- マ1 挟る「たぐる」
マ2 弁える「わきまえる」
マ3 脊椎「せきずい」
マ4 些末「さまつ」
マ5 既往歴「がいおうれき」

第3問 次の文の傍線部の「漢字」表記として正しいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

- マ6 テンブクした船から乗客を救助する。「1」転覆 「2」転伏 「3」転幅
マ7 全面勝利のヨインに浸る暇はない。「1」予韻 「2」与韻 「3」余韻
マ8 利益を消費者にカンゲンする。「1」還元 「2」還減 「3」還元

第4問 次の文の傍線部のカタカナを文意に即して「漢字」で書きなさい。各設問には異なる熟語が入ります。また、同じ解答が複数箇所に書いてある場合はすべて誤りとします。

- 記5 新たな条例が本日からハツコウする予定である。
記6 適量のハツコウ食品を摂ることは健康によいと言われる。
記7 ハツコウの少女を描いた物語を読んで悲しくなった。

第5問 次のそれぞれの語の対義語ないし類義語をあとの選択肢からひとつ選び、記号で答えなさい。また、対義語の場合はA、類義語の場合はBを、それぞれ区分欄に記しなさい。

- 記8 他界
記9 萎縮
記10 美点
記11 愚直
記12 寛大

【語群】

- ア. 長所 イ. 賢明 ウ. 海外 エ. 歪曲 オ. 狡猾
カ. 伸長 キ. 卑小 ク. 狭量 ケ. 死去 コ. 汚濁

第6問 次の文中には漢字の変換ミスが三箇所あります。それぞれの語を で囲み、さらにそれを正しい漢字に直して解答欄のそれぞれの箇所(記13～15)に記しなさい。
なお、順序は問いません。

感染症をめぐる状況が深刻化するにつれ、各種の経済活動を縮小せざるを得ない状況もまた国内に拡大するなかで、医療的観点と経済的観点の走法がもたらすメリットとデメリットとの間の近郊をどのように謀るかという問題が、ますます緊急性を伴って認識されるようになってきた。

第7問 次の慣用表現の空欄に入るもつともふさわしいものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

- | | | | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| マ9 | 手塩に「」 | | | |
| | [1] あげる | [2] はめる | [3] のせる | [4] かける |
| マ10 | 逆鱗に「」 | | | |
| | [1] 避ける | [2] 負ける | [3] 触れる | [4] 染まる |
| マ11 | 御託を「」 | | | |
| | [1] 並べる | [2] 重ねる | [3] 述べる | [4] 伏せる |

第8問 次の語句の意味としてもつともふさわしいものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

- マ12 轍を踏む
- | | |
|-------------------|------------------|
| [1] 先人と同じ過ちをおかすこと | [2] 他人から非難されること |
| [3] 無謀な賭けをすること | [4] 慎重にものごとを運ぶこと |

マ 13 踵（きびす・くびす）を接する

「1」 決意をひるがえすこと

「2」 ものが次々に起こること

「3」 互いの意見を交換すること

「4」 思いきった行動に出ること

マ 14 鼻にかける

「1」 他人を見下すこと

「2」 悔しい思いをすること

「3」 恥ずかしくなること

「4」 自慢すること

第9問 慣用表現を用いた次の文の空欄には、それぞれ身体の部位をあらわす漢字一文字が入ります。文脈から判断してもっともふさわしい漢字一文字を記しなさい。同じ漢字を複数回使用することはできません。

記 16 ライバルに勝って「 」がすぐ思いだ。

記 17 そろそろ「 」を決めて難題に取り組むべきだ。

記 18 「 」折り数えて退院の日を待つ。

第10問 次の傍線部の現代かなづかいが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ 15 かねづかい（金遣い）が荒い

マ 16 いちぢるしい（著しい）発展を遂げる

マ 17 迷惑をこおむる【注】漢字表記略

マ 18 おおつぶの涙【注】漢字表記略

第11問 論述には、論理的に常に正しいものと、常に正しいとはかぎらないものとがありま
す。次の文章が論理的に常に正しければマーク欄「1」を、常に正しいとはかぎらなければ
マーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

【注】「ゆえに」の前の二つの文の叙述内容は常に正しいものであると仮定します。また、叙
述の内容が実社会の現実と合っているとはかぎりません。

マ 19 この高齢者実習には看護専門学校生徒以外は参加できない。生徒Aはこの高齢者
実習に参加できる。ゆえに生徒Aは看護専門学校の生徒である。

マ 20 この病棟の入院患者の透析は必ず午後におこなわれる。今は午後である。ゆえに今、
この病棟の入院患者は透析をおこなう。

マ 21 村内の診療所にはすべてMRIがない。この診療所にはMRIがない。ゆえにこの
診療所は村内にある。

第12問 次の文と論理的に同じ内容となる文を選択肢からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

【注】叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを問うものではありません。

マ22 この専門学校の生徒はすべて、病棟実習を無断欠席したことがない。

「1」病棟実習を無断欠席したことがある実習生であれば、それはこの専門学校の生徒ではない。

「2」病棟実習を無断欠席したことがない実習生であれば、それはこの専門学校の生徒である。

「3」この専門学校の生徒以外はすべて、病棟実習を無断欠席したことがある。

第13問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

人びとの看護についての考え方は二通りある。ひとつは、看護とは煩わしく無益な干渉であって（確かに、そういうことが多過ぎる）、できるだけ避けたいという考えであり、もうひとつは、看護は「神秘」だという考えである。患者を導いて何かをさせようとしたところ、ほかの看護師にはどうしてもできなかったのに、ある優秀な看護師の手にかかると思者は喜んでするようになった。こんなとき、人びとはこれを「天才」とみたり、何年か前にロンドンでよく実演されていた生物学を応用した手品の一種ではないかと考えたりする。

ところで、看護については「神秘」などはまったく存在しない。良い看護というものは、あらゆる病気に共通するこまごましたこと、および一人ひとりの病人に固有のこまごましたことを観察すること、ただこれだけで成り立っているのである。

動物に対して不思議な能力を持つ人たちがいる。彼らは森に入って、自分のまわりに野鳥を集めることができる。これはかつては魔法と考えられたこともあったが、現在は、※注計算少年と同様に、われわれの見抜くことのできない何か特殊な能力であると想像されている。

しかしそれは、鳥の習性や本能についての綿密な観察によるもの以外の何ものでもない。

それと同じように、患者に対するある看護師の「特殊な能力」や、別の看護師の患者に対する能力不足も、前者には何がどう患者を動かすかについての綿密な観察があり、後者にはその観察が欠けている、ということにほかならない。

患者に勧めて食事を摂らせるときほど、これが顕著に現われることはない。ある看護師のもとで、ある患者が食事を受けつけないために衰弱しているとしよう。それを別の看護師にまわしてみると、彼はたちまち食べるようになる。これはどうしたことか？ 「彼女は患者をあやつる力を持っている！」と人びとは言う。しかし、それは人間をあやつる力などではない。食事の与え方の問題であり、あるいはまた、患者が楽に嚥のみ込めるように枕を当てがう方法の問題なのである。ある患者は窓を開けると食が進む。別の患者は顔と手を洗うとよく、またほかの患者は首のうしろを濡れタオルで拭くだけで食べられるようになる。自殺

につながるほど気のふさいでいるような患者には、食べる気を起こさせるためのちよつとした元気づけが必要である。看護師は彼の思いに何か変化を与えて、気晴らしをさせる。私は自分が重い病気だったときに、ほかの誰が食べさせてくれても嘔み込めないようなときでも、ある看護師が口にスプーンを運んでくれると嘔み込めたことを思い出す。

ある女性が他人の生命を救うことができるのは、ただこれらこまごました事柄すべての観察によるのであり、けっして不可思議な「他人をあやつる力」などによるものではない。また別の女性が他人の生命を救う手段を見つけれないのは、このような観察が欠けているからである。

患者が人間の手ではもはや救いようもないほど譫妄状態に陥り、叫び声をあげてあなたを呼び求め、あなたが傍にいないことをわからせることもできない、そんな状態のときでさえも、ちよつとした不用意な物音や不注意な接し方ひとつによって、患者の状態がますます悪化することがよくあり、しかも、不注意を犯した看護師は、そのことにまるで気づかない。

フロレンス・ナイチンゲール『看護覚え書（改訳第7版）』湯楨ます ほか訳（現代社）

※注 計算少年：たいへん複雑な計算をすらすらとやってのける能力を持っている天才少年。

マ23～28 次の各文が本文の内容と合っていればマーク欄「1」を、合っていない、もしくは本文に該当する記述がない場合はマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ23 看護とは煩わしく無益な干渉であるという考えも、看護は「神秘」だという考えも、ともに誤っている。

マ24 動物に対して不思議な能力を持つ人たちは、看護に関しても非常に優れた能力を発揮するはずであると考えられる。

マ25 優れた看護師が患者の命を救えるのは、優れた観察力が備わっているからである。

マ26 患者というものは窓を開けたり、顔と手とを洗ったり、首のうしろを濡れタオルで拭いたりしさえすれば食事を摂ることができるようになる。

マ27 不注意によって患者の状態を悪化させてしまうような看護師は、自分がそうした不注意を犯したことにすら気づいていない。

マ28 患者に勧めて食事を摂らせるときには、魔法ではないかと思われるほどの特殊な能力が必要とされることがある。

第14問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

近年、承認不安の高まりは誰もが認めるところとなっています。そのため、承認不安をいかにして解決すべきか、多くの人が探し求めているのですが、やはり承認への欲望を満たすか、自由への欲望を満たすかで、その対処法は異なっています。

承認への欲望を優先する対処法でよくあるのは、「コミュニケーション・スキルを磨く」というものです。コミュニケーションの上手い人は、周囲の人々の受けもよく、好印象をもたれやすいため、「受け入れられている」「認められている」と感じる機会が多いはずです。

そもそも現代社会は第三次産業が中心で、コミュニケーション能力が仕事の評価に直結しやすい面がありますので、この力があれば「ア」を得る可能性は確実に高くなります。逆にコミュニケーションが苦手な人には、かなり生きにくい世の中だと言えるでしょう。発達障害と呼ばれる人が増えているように見えるのも、高いコミュニケーション能力を求められる社会だからこそ、目立ってしまうのかもしれないかもしれません。しかも日本では、場の空気を読んだ発言や「イ」な表現が重んじられるため、より一層、コミュ力が承認の行方を左右してしまうのです。

「a」、コミュニケーション能力を高めることが承認の可能性を拡げてくれるのは確かですが、過剰にコミュニケーションに気をつかい、自分の言いたいことまで抑制するようになると、自由を感じることはできなくなります。

自分の気持ちに正直で、ごく自然にふるまっているのに好感をもたれる、ということなら問題はありません。しかし、誰もがそうできるわけではなく、周囲に同調し、過剰に場の空気を読み、自分の本音を抑えることでしかコミュニケーションを乗り切れない人は、自由を失い、①を抱くようになるでしょう。

一方、自由を優先する場合には、「承認を求めずに自分のやりたいことをやる」という態度に徹するやり方があります。もちろん、好き勝手にやるだけでは周囲の批判は避けられないので、常識をふまえた範囲で、自分のしたいことを優先するのです。

しかし、他人の承認を気にしなくても済むためには、自分なりの信念、価値観を信じ、自己承認できなければ難しいと思います。それが「ウ」自己承認によるものならば、周囲の承認は得られないため、やがて耐えきれなくなり、承認不安が再び募る可能性は高いでしょう。

そもそも承認不安の強い人は、周囲の目など気にするな、自分のしたいこと、すべきことをすればよい、と助言したところで、「それができるくらいなら苦労はしない」と思うはず。また、幼い頃から承認不安を抱えてきた人は、自分のしたいことを思う存分にした経験が乏しいため、自分がなにをしたいのか、なにをすべきなのか、よくわからないかもしれません。

以上のように、コミュニケーション力をつける、承認にこだわらず「したい」ことを優先する、といったような方法は、承認不安の強い人、承認不安シンドロームが顕著な人には困難であり、コミュ力がついたとしても、自由を犠牲にして苦しくなる可能性が高いと思います。かといって、承認を捨てて自由を優先することもできません。

自由と承認のどちらかを優先して他方を犠牲にする、というやり方にも疑問を感じます。自由と承認の葛藤を超えて、自由②承認の得られる可能性はないのでしょうか。どのようにすれば、承認不安シンドロームを解決する道が見えてくるのでしょうか？

自由という言葉を聞くと、拘束や義務から身体や感情を解放し、気分のおもむくままに行動できること、というイメージを思い浮かべる人も多いと思います。しかし、気分のおもむくまま、衝動的に行動することは、当然、失敗も多く、後悔することになりやすいものです。

外から見れば、自由気ままに行動しているように見えても、本人は自分の衝動を抑えられない、やめようと思ってもやめられない、と感じているかもしれません。それはつまり、自分の思いどおりに行動できないという意味で、③ と言えるでしょう。

自由を感じるためには、自分の衝動をコントロールできること、自分が本当はどうしたいのか、欲望を自覚できることが必要です。その上で、自分で決めたのだから後悔はない、というように、納得して行動できなければなりません。

しかし、あまりに不安が大きい人は、日々の生活が不安の指し示す危険の回避で精一杯になり、自分の欲望を満たすための行動をとる余裕などありません。特に承認不安シンジROOMの場合、周囲の人間への「エ」ゆえに自分の欲望を過度に抑制してしまい、強い①に陥りやすいでしょう。そして、そのような生活が長期に渡って繰り返されると、相手に合わせるのがあたり前になってしまい、自分が本当にしたいことはなんなのか、意識することも少なくなります。その結果、いざ相手に「自由にしてもよい」と言われても、どうすればよいのかわからず、困惑してしまうようになるのです。

これはいわば、自己了解ができていない状態と言えます。

（中略）自己了解ができるということは、自らの感情の動き、欲望を自覚できるということです。それができるためには、自分の気分に注意を向け、感情の動きをていねいに「オ」してみることが必要になります。感情は自分の本音を映し出す鏡であり、そこには本当の自分が映し出されているからです。

しかし、私たちは忙しすぎたり、不安で頭が一杯だったり、先入観や固定観念に囚われている場合、この鏡に映った自分に目を向ける余裕がなくなります。だからこそ、意識して自分の感情に注意を向け、心の声に耳を澄ます必要があるのです。

「b」、いつも一緒にいる友だちとの会話のなかで、ムカムカした気分になったとします。それもはじめてのことではなく、最近では友だちが一方的にしゃべっていると、だんだん居心地の悪さを感じるようになっていたのです。このような場合、自分の感情を無視し、深く考えないようにしていると、徐々にストレスがたまり、もやもやした苦しみを感じるようになるでしょう。

「c」、こうした自分の気分に注意を向け、ていねいに心の内を探ってみれば、友だちの考えがまちがっている、ついていけない、という自分の本音に気づくかもしれません。それと同時に、友だちに嫌われたくない、という承認不安ゆえに、自分の気持ちに「B」をしていたことも見えてきます。

こうして自分の本当の気持ちに気づき、自己了解できると、④、ちゃんと考えられるようになります。相手に同調するのをやめて、もう少し自分の意見を言うようにするかもしれないし、友だちと少し距離をとる、という選択をするやり方もあり得ます。

「d」、それがうまくいくとはかぎりません。ときには裏目に出て、失敗した、と思う場合もあると思います。しかし、よく考えた上で決めたことであれば、後悔することは少ないはずです。

このように、自分がしたいことを自覚し、納得して行動することこそ、自由の感覚につながっています。自己了解は自由に生きる上で不可欠なものであり、自己了解するためには、自分の感情の動きに注意を向け、そこにある不安や欲望を、真摯に受け止める必要があるのです。

山竹伸二『ひとはなぜ「認められたい」のか―承認不安を生きる知恵』より（ちくま新書 1547）
一部省略

記 19 傍線部 B の「フタ」を漢字で正確に書きなさい。

記 20 傍線部 C の「真摯」の読みをひらがなで書きなさい。

マ 29 空欄 ①（二箇所とも）に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] 自己喪失感
- [2] 自己疎外感
- [3] 自己不全感
- [4] 自己閉塞感

マ 30 空欄 ② に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] を超えた
- [2] とは異なる
- [3] に匹敵する
- [4] でありかつ

マ 31 空欄 ③ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- [1] かなり危機的な状態に陥っている
- [2] 精神的に病んだ状態にある
- [3] 非常に無責任な態度である
- [4] きわめて不自由な状況にある

マ 32 空欄 ④ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を
チェックしなさい。

- 「1」どのくらい他人と距離をとればよいのか
- 「2」どうすれば納得のいく行動がとれるのか
- 「3」どのくらい自分の意見を言えばよいのか
- 「4」どうすれば相手に同調させることができるか

マ 33 文中の「ア」から「オ」に入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいもの
を以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- | | | | | | |
|-----|-------|--------|--------|-------|-------|
| 「1」 | 「ア」安心 | 「イ」丁重 | 「ウ」情動的 | 「エ」遠慮 | 「オ」確認 |
| 「2」 | 「ア」承認 | 「イ」婉曲 | 「ウ」独善的 | 「エ」配慮 | 「オ」内省 |
| 「3」 | 「ア」利益 | 「イ」遠回し | 「ウ」利己的 | 「エ」不信 | 「オ」追跡 |
| 「4」 | 「ア」財産 | 「イ」控えめ | 「ウ」排他的 | 「エ」不満 | 「オ」描写 |
| 「5」 | 「ア」信頼 | 「イ」慎重 | 「ウ」強制的 | 「エ」期待 | 「オ」表出 |

マ 34 ～ 37 文中の「a」から「d」に入る最もふさわしいものを以下からそれぞれ
ひとつずつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。同じ語の重複使用は認めませ
ん。なお、使用しないものがひとつあります。

- | | |
|------|-----|
| マ 34 | 「a」 |
| マ 35 | 「b」 |
| マ 36 | 「c」 |
| マ 37 | 「d」 |

- 「1」しかし 「2」また 「3」もちろん 「4」たとえば 「5」ただ

記 21 傍線部Aによれば、承認不安の強い人には「周囲の目など気にせずしたいことをしろ」
といった助言は不適切であるとされているが、ではそういう人はどのようにすることが良
いと筆者は考えているか、五〇文字以上六〇文字以下の一文で記しなさい。句読点も一字
分とします。冒頭の一字下げは不要です。